

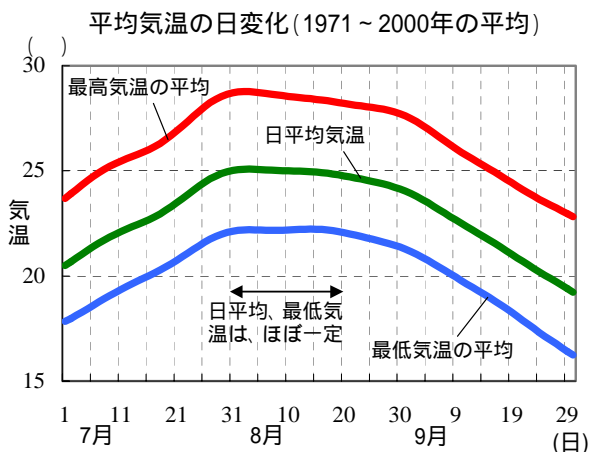
日 立 の 気 象 1 1 4

暑さはいつまで

7月下旬に梅雨が明けたあと、太平洋高気圧におおわれて晴れる日が続くようになり、日立市では1年で最も暑い季節を迎えます。平年値で見ると、日最高気温は8月初めに1年で最も高くなった後、10日に0.3 というゆっくりとした割合で下がっていきます。一方、日平均気温と日最低気温は、8月初めに最も高くなった後もほとんど変わらず、気温の高い状態が続きます。これは、8月に入ると徐々に太陽の高度が低くなり、昼間の時間が短くなっていくため最高気温は下がっていくのに対して、太平洋高気圧からの暖かい空気におおわれて夜間の気温はほとんど変わらないためです。

しかし、8月も20日を過ぎると太平洋高気圧はしだいに南へ退いていき、代わって大陸の高気圧が南下してくるようになり、平均気温と最低気温も徐々に下がり始めていきます。平均気温は、月の終わりには月の初めに比べて約1 ほど低くなります。さらに、9月に入ると一段と気温の下がり方が大きくなり、1週間で約1 ずつ気温が下がっていくようになります。

なお、日最高気温が30 を超えるあたりから熱中症の症状がひどくなる人が急激に増えるといわれています。特に、7月下旬から8月上旬にかけては急に暑くなるため、暑さに慣れるまでの間は注意が必要です。



【8月の暦と気象記録】

7日、立秋(秋の気配が感じられる)

23日、処暑(暑さがおさまるころ)

1996年8月15日:日最高気温 38.5

(観測記録順位第1位、南西風によるフェーン)

2007年8月16日:日最低気温 26.9

(観測記録順位第1位、上層高気圧の下降流)

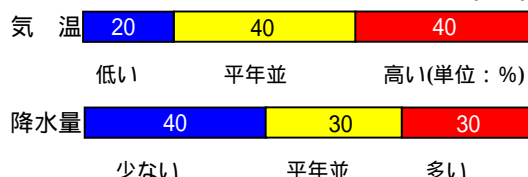
1986年8月4日:日降水量 214.0mm

(観測記録順位第3位、台風から変わった低気圧)

【関東甲信地方の8月の予報】

季節予報では、平年と同様に高気圧におおわれて晴れる日が多く、気温は平年並から高いと予想されています。降水量は、平年並みから少ないと予想されます。

8月の気温、降水量の階級確率(%)



8月の気象観測値(日立市役所)

項目	2007年	平年値
平均気温()	26.3	24.8
降水量(mm)	101.0	148.2
日照時間(時間)	231.8	181.3

平年値(1971~2000年の30年間の平均)

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>
行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話22-5520 IP電話050-5528-5066へどうぞ。